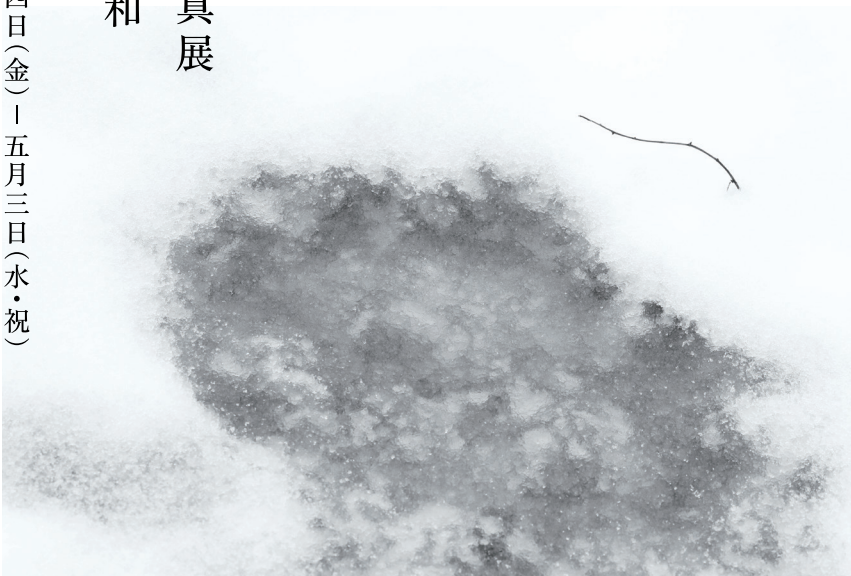




六田知弘写真展
あめつち大和

二〇二三年四月一四日(金)―五月三日(水・祝)
古民家ギャラリーーら・しい



写真家

六田知弘 (むだ ともひろ)

<https://www.muda-photo.com>

1956年奈良県御所市生まれ。

1982年よりネパールヒマラヤ山中のシェルパの村に暮らして撮影。

1988年初個展「ひかりの素足—シェルパ」(新宿ニコンサロン)を開催する。

以降、「自然や宇宙と人間との根源的なつながり」を遠くに探りながら、

モノ、風景、石、水、壁、人、文化財や遺跡、古美術品など

様々な事象を対象に撮影し、写真展や出版を通じて発表する。

写真展

2007年国立西洋美術館で「祈りの中世 ロマネスク美術写真展」を開催。

2008年中国の「雲岡石窟」の全容を撮影し、2011年写真展「雲岡 仏宇宙」(蘆山龍泉堂)を開催。

2009年より写真展「サンティアゴ巡礼の道 六田知弘 東洋のまなざし」が世界各地を巡回中。

2011年の震災後の東北地方にて、津波にのまれ打ちあげられた被災物を撮影し、

2013年より写真展「時のアイコン—東日本大震災の記憶」として相田みつを美術館や渋谷区松涛美術館など、国内外を巡回。

2014年大阪市立東洋陶磁美術館で「蓮—清らかな東洋のやきもの×写真家・六田知弘の眼」を開催。

2017年大阪と奈良県御所市にて「写真家 六田知弘 宇宙のかけら—御所GOSE」を開催。

2018年静岡県池田20世紀美術館にて、六田知弘写真展「壁・ヒミツノアリカ」を開催。

2020年六田知弘写真展「仏宇宙」を相田みつを美術館で開催。

2021年東日本大震災から10年、「時のアイコン」を金沢と東京で開催。

2022年「アメツチアキツ」を東京黎明アートルームで開催。

そのほか、国内外の美術館やギャラリーなどでの個展多数。

写真集

『雲岡石窟 仏宇宙』(富山房インターナショナル刊)

『石と光 シーのロマネスク聖堂』(平凡社刊)

『時のアイコン 東日本大震災の記憶』(平凡社刊)

『ロマネスク—光と闇にひそむもの』(生活の友社刊)

『仏宇宙』(生活の友社刊)など多数。

料金後納郵便

六田知弘写真展「あめつち大和」

2023年4月14日(金) — 5月3日(水・祝)

毎週水曜・木曜は休廊 AM10:00~PM17:00(最終日は15:00まで)

4月15日(土)・16日(日) 14:00からギャラリートーク

写真展初日の4月14日(金)には、當麻寺境内において「練供養」が執り行われます。



奈良県葛城市當麻1236 TEL:0745-60-0617
info@lashie-nara.com <https://lashie-nara.com>

